トップニュース

龍谷総合学園 高校生同士でSDGsを考える研修会

仏教×SDGs 「行動計画」を話し合う

宗門校24学園で組織する龍谷総合学園（理事長＝入澤崇龍谷大学学長）は8月22日、「仏教×SDGs 2022」をオンラインで開催した。この研修会は、地球上の「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を、仏教の視点とともに考えていこうと、加盟校の高校生が仏教とSDGsについての学びを深めている。

学びを行動に移す

「仏教×SDGs」は2019年から始まった（2020年は新型コロナで中止）。昨年に続いてオンライン開催となった今回は、14校から26人の生徒が参加し、協議テーマの「『食』を巡る社会的課題」について活発な意見交換を行い、自分たちが取り組む課題解決に向けた行動計画（プラン）を策定し発表した。

生徒は事前学習として、各校で食の循環、自給自足、フードロスなどを学び、身近にある「食」の課題を探って研修会に臨んだ。当日は5班にわかれ班別協議を行った。それぞれが考えてきた課題を発表し合い、意見交換を重ねて課題を1つにまとめ、その解決に向けた行動計画を考えた。

龍谷大学付属平安高校（京都市下京区）の川中美菜子さん（3年）と堂園咲乃さん（同）は「フードロスの原因を探った。SNSでの見映え、規格外食品の廃棄、食材の皮など調理法によって食べられるものが再利用されていないなどの現状を見つめた。食べ物を再利用するフードバンクの活動をより活発にしなければならない」と発表。さらに、「自分たちが学び、理解を深め、学校や寺院などを拠点に活動に取り組み、情報を発信して多くの人たちに広めていく」と具体的な行動計画を示した。

高校生に助言し、協議、発表に耳を傾けた相愛大学の井上陽准教授と龍谷大学の野呂靖准教授は「『食』の問題を巡る社会の構造が変わっていく中で、どう個人の行動を変えていくかという視点の提案が多かった。これは社会的な問題を考える際に極めて重要なこと」と総括した。

■旭川龍谷高校

昨年の同研修会で「ジェンダー」「多様性」をテーマに行動計画を発表した旭川龍谷高校（北海道旭川市）は、SDGsの目標「ジェンダー平等を実現しよう」に取り組んでいる。

校舎移転を契機として9月から、経済的な理由で生理用品を入手できない「生理の貧困」の問題に対応するため、女子トイレに生理用品を設置することになった。生理用品の購入は、生徒会の小川安会長、窒井結衣副会長らが中心となり生徒らに寄付を募った。

宗教科の藤島裕明教諭は「性同一性障がいの生徒に対応した『ジェンダートイレ』の実現なども検討されており、『仏教×SDGs』の学びの成果がだんだんと生徒らの間に浸透してきている」と語っている。

■東九州龍谷高校

「仏教×SDGs」での活発な意見交換・発表は、参加した高校生らに仏教やSDGsに対する関心を喚起する効果を生んでいる。参加校の中には、行動計画を学校に持ち帰り実践しているところもあり、高校生たちの間に「仏教×SDGs」での学びの成果が着実に根付きつつある。

東九州龍谷高校（大分県中津市）は、2020年度からSDGsの実践活動に取り組み始めた。今年4月10日には「仏教×SDGs」の啓発を目的とした「つどい」を生徒・教職員らで組織するSDGs実行委員会が中心となって行った。花まつりでは、SDGsの目標の1つである「貧困をなくそう」の取り組みとしてフードパントリー（食料品の無料配布）を行った。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に向けて

「私たちで慶讃法要を盛り上げよう」

龍谷総合学園の高校生が期間限定の音楽グループ

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の機運を高めようと、宗門校24学園で組織する龍谷総合学園の3校の高校生有志が音楽グループ「ナムナムガールズRSG」を結成し、7月と8月には福岡と広島で、オリジナル曲「私たちはちかう」の音源収録を行った（写真）。

ナムナムガールズは、東九州龍谷高校（大分県中津市）の宗教部と聖歌隊の生徒で2015年に結成された〝ご縁づくり〟グループ。九州各地の寺院など学校内外で、お念仏のよろこびが伝わるような高校生らしいオリジナル曲を歌う活動を行っている。今回の「ナムナムガールズRSG」は来年春の慶讃法要に向けた期間限定の特別グループ。同校が「法要を機縁にRSG（＝龍谷総合学園の頭文字）が一体になって、若者や幅広い世代に仏教のご縁をつないでいこう」と呼びかけ、収録には、崇徳高校（広島市西区）のグリークラブと岡山龍谷高校（岡山県笠岡市）の生徒が加わり、総勢23人が参加した。

グリークラブの宮城千聖部長（3年）は「仏教がテーマなのに、ポップでノリノリなのが新鮮。難しい言葉もなく、私たち世代に仏教のメッセージがわかりやすく伝わってくる歌」、東九州龍谷ナムナムガールズの毛利彩乃さん（3年）は「今のメンバーは新型コロナの中で一度も公演活動に出たことがない。法要がある来年は私は高校を卒業しているけど、『RSG』の後輩たちにはぜひ、『私たちはちかう』を大勢の前で歌ってほしい」と話した。

楽曲の作詞を担当し、特別グループ結成を呼びかけた東九州龍谷高校宗教教育主任の紅楳聖教諭は「『慶讃法要』の趣意には、法要を若い人やこれまでお念仏のみ教えにご縁のなかった人に新鮮なメッセージをおくる機会にすることや、仏教語をわかりやすい言葉に紡ぎかえていく『伝わる伝道』への転換、『私たちのちかい』の普及などが明記されている。これに相応しい活動と考えた」と説明し、「楽曲は、ご門主の『私たちのちかい』に応える思いを歌詞にした。一昨年11月に完成していたが、新型コロナの影響で参加校の調整が難航し、レコーディングも遅れた。今後は収録に参加できなかった学校にも音源を送り、輪を広げていきたい」と話す。また、岡山龍谷高校の安西崇教頭は「蓮如上人の御文章や講の組織など、人々に親しみやすい形で浄土真宗が広まったことを考えれば、これも現代的な伝道のあり方の1つ。コロナの中で多くの人に元気を与えられるよう、これからの活動を楽しみにしている」と期待を寄せる。

曲の公開日は後日発表される。

来年に向け機運高揚

滋賀・聖人鑽仰会 集いを開催

滋賀教区親鸞聖人鑽仰会（理事長＝菅原順昭教務所長）は9月2日、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け記念大会「鑽仰の集い」を滋賀県野洲市内のホールで行い、門信徒や僧侶350人が参加した。

行信教校校長の天岸浄圓さんが「浄土真宗のみ教え～なぜ仏さまに手を合わせるのか」と題して記念法話。「浄土真宗のみ教え」「私たちのちかい」の味わいをやさしい語り口で話した。また、講談師・旭堂南湖さんが自作の「親鸞聖人御一代記」を臨場感たっぷりに語った。

常務理事の奥野良幸さん（同県日野町・信楽寺門徒）は「来年は本山と滋賀教区で慶讃法要が予定されている。大会が法要に向けて機運高揚につながっていくことを願っている」と話す。

同鑽仰会は、親鸞聖人700回大遠忌法要の機運高揚と記念事業の一環として、法要前年の1960年に本山に親鸞聖人鑽仰会が発足したことを受け、同年に結成された。全21組に支部を組織し、全寺院の僧侶・寺族・門徒が会員。毎年支部毎に特別布教、八幡別院（滋賀県近江八幡市）などで年2回の聞法の集いを開いている。「鑽仰の集い」は3年に1度行われ、今回で44回目。

本願寺新報
hongwanji journal
9月20日（火曜日）
毎月1日・10日・20日発行
発行所　本願寺新報社
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派（西本願寺）
〒600-8501　本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) ／ FAX075(341)7753

寺院会計・幼稚園会計・保育園会計・税務・相続対策
◆宗派顧問税理士のゆびすいにお任せください◆
ゆびすいグループ
税理士法人ゆびすい
グループ拠点▶堺・大阪・東京・仙台・名古屋・京都・和歌山・岡山・広島・福岡
信頼と安心、そして未来へ… YUBISUI
0120−067−149
文化庁主催『宗教法人実務研修会』の担当講師
http://www.yubisui.co.jp　ゆびすい　公益　検索

■浄土真宗のみ教え■

南無阿弥陀仏
「われにまかせよ　そのまま救う」の　弥陀のよび声
私の煩悩と仏のさとりは　本来一つゆえ
「そのまま救う」が　弥陀のよび声
ありがとう　といただいて
この愚身をまかす　このままで
救い取られる　自然の浄土
仏恩報謝の　お念仏

み教えを依りどころに生きる者　となり
少しずつ　執われの心を　離れます
生かされていることに　感謝して
むさぼり　いかりに　流されず
穏やかな顔と　優しい言葉
喜びも　悲しみも　分かち合い
日々に　精一杯　つとめます

「『浄土真宗のみ教え』についての親教」をこのQRコードから見ることができます。

赤光 白光

竹は季節にあらがっているように見える。樹木の多くは秋に紅葉（黄葉）するが、竹は春に黄色く変色するため「竹の秋」という。逆に、秋には青々と葉を茂らせる。これを「竹の春」という。

▼地下茎でつながる竹は、春には栄養分をタケノコの成長に費やすため、親竹の栄養が不足し黄色く変色する。秋は、親竹にも栄養が行き届き、若竹共々に若葉を茂らせる。竹は一つの根で、助け合い、つながり合っている。枯れる時は1本だけではなく一斉に枯れ、若葉を茂らせるのも一斉である。

▼世界各地で極端な洪水や干ばつ、異常気象などが続く。日本でも酷暑や、経験がないほどの猛烈な台風に生活が脅かされている。その被害を最小限に止めるためにも気象情報は大切となる。最近は、アメリカやヨーロッパの気象機関などのデータも取り入れられ、比較しながら詳しい情報が得られるようになった。言うまでもなく、気象現象は世界中でつながっており、互いに影響し合っている。

▼1つの根でつながる竹のように、助け合い、つながり合う関係であることに気づかなければ、地球全体が枯れてしまう。このことを強く訴えるのが国連が採択したSDGs（持続可能な開発目標）である。17の目標の1つには「気象変動に具体的な対策を」が掲げられる。1つの地域や国の努力だけで解決する問題ではない。1人1人が問題意識を持ち、その1歩は小さくても歩み出すことが必要である。それが大きな輪、大きな前進につながるのではないか。

探究社　https://www.tankyusha.co.jp
新刊
赤光2／赤光3
前著『赤光』の続編となる本書に掲載されている法話は過去において、その時々に感じた著者の思いや時事的な事柄を元に記されている。どの法話も難しい仏教用語は使用されておらず、気軽に読み進めることができる内容となっている。
福間　義朝　四六判　各1430円
お寺と家庭をつなぐ法話の便り
よろこび　報恩講
執筆者　前田　壽雄／田阪　法雄／浄土真宗の風景　章道／親鸞聖人のご生涯　三上　斯波　徹真／近松　真定／伝説とお念仏
132円
※100部以上のご注文で割引有
好評発売中！
2023年（令和5年）版
ほのぼのカレンダー
詩・東井義雄　絵・寺田みのる
1部 150円
ほのぼのカレンダー標語解説書
悪人正機　この私がめあて
東井　義雄　110円
「別版・ほのぼのカレンダー」も発売しています。詳しくはお問い合わせ下さい。
〒520-0027　大津市錦織2丁目9-30-101
TEL 077 (599) 4201　FAX 077 (599) 4220
【e-mail】post@tankyusha.co.jp　【表示価格は税込】

法藏館
http://www.hozokan.co.jp
法藏館文庫
聖武天皇——「天平の皇帝」とその時代【最新刊】
瀧浪貞子［著］　聖武天皇は本当に「ひ弱な天皇」だったのか？「天平の皇帝」たらんとしたその生き様を鮮やかに描き、旧来の聖武天皇像に見直しを迫る。　一、四三〇円
講解 教行信証　全5巻　（オンデマンド復刊）　並製カバー装
星野元豊［著］　長らく品切れだった教の巻・行の巻を含め全5巻をオンデマンド復刊。『教行信証』研究の集大成。［分売可］
①教の巻・行の巻　八、八〇〇円
②信の巻　一一、〇〇〇円
③証・真仏土の巻　一一、〇〇〇円
④化身土の巻・総索引　一一、〇〇〇円
⑤補遺篇　四、四〇〇円
重版
なぜ人はカルトに惹かれるのか
——脱会支援の現場から
瓜生　崇［著］　アレフ脱会支援で気づいた、正しさ依存の心理。自らの体験告白とともに、脱会とは迷いながら生きる勇気を持つことである。　一、七六〇円
〈季刊誌〉ひとりふたり・・・　報恩講を迎える
身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。　一三六円
施本に最適！
三〇部以上のご購入で一部一〇円に割引。
〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入ル　TEL 075-343-0458　FAX 075-371-0458
表示価格は全て税込　新刊メール配信中！　お買上16,500円(税込)以上送料無料

最新刊
ラジオ法話　親鸞　正信偈
土岐慶正著　定価2750円（税込）
本書は、FMラジオたかおかで二〇一八年八月から二〇二一年一月まで放送された、親鸞聖人の「正信偈」の一〇分間法話に、一部加筆し現代語訳（試訳）を加えたもの。「正信偈」のなかに響いている宝石のような鼓動を、法話として伝える。
アミダ・プロジェクト ―人間社会を問い返す最後の根拠―
野世信水著　定価2420円（税込）
今回のロシアとウクライナの戦争において浮き彫りになった、想像をはるかに超える人間社会の悲しき現実。今必要なことは、自分自身が日々生きる上において、その根拠たるべき思想基盤としての親鸞さんである。この本では、親鸞さんの念仏の真意を明らかにし、アミダ仏の本願を追求する。
改訂新版　聲明集
川上准玄編　東京歎讃会〈改訂協力〉　定価3850円（税込）
本書は、浄土真宗本願寺派の『聲明集』を底本として、故・川上准玄師が編纂著作した『聲明集』に全面的に振り仮名を施し、その他に若干の修正を加えた改訂版である。本願寺派の聲明・作法の練習の参考書として重宝する待望の一冊。
永田文昌堂　600-8342　京都市下京区花屋町通西洞院西入　TEL 075-371-6651　FAX 075-351-9031

大好評　2023(R5)年　詩と花の絵のカレンダー
みすゞと四季　金子みすゞ〈童謡詩人〉×山田りえ〈日本画家〉
月ごとに味わう「みすゞの詩」と「花」。
金子みすゞさんの詩と山田りえさんの描く花の画が穏やかにしずくに美しく奏でます。
※3,000円以上ご購入の場合は、送料無料。その他、送料は全国一律500円（代引き手数料330円）頒布
A4判オールカラー／中綴／見開きA3判
上部、詩と絵／下部、カレンダー　定価150円（税込）
♡「心があたたかくなるカレンダーです」（北海道）とお声をいただきました。
日めくり万年カレンダー　直筆版
『東井義雄』心に滲みる言葉の数々。
※東井義雄記念館 監修
授与品などにオススメ!!
※名入れ承ります。
サイズ：縦24cm×横20cm　表紙2頁＋本文31頁＋台紙　税込価格 1,100円　送料は全国一律500円　代引き手数料330円（税込）
浄土真宗　家庭に一冊、これはためになる！
あったか年賀状 文例集
真宗には真宗の御法の言葉が大切。一頁ごとに浄土真宗の味わいあり。
広島佐伯奥組 編集・発行
昨年十月刊行。
話題の一冊
A5判オールカラー　45例文を掲載　税込価格 330円
以後の発売を代行致します。
◎名入れのご相談賜わります。
方丈堂出版　https://hojodo.jp/　フリーダイヤル 0120-557-750　京都市伏見区日野不動講町 38-25